

=== 日本語学会からのお知らせ 第154号 (2020年11月30日) ===

※本メールアドレスは配信専用のため、ご返信いただけません。

■ 日本語学会2021年度春季大会のオンライン開催について

日本語学会理事会

日頃、日本語学会の活動にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。この度は、2021年度春季大会の開催形態についてお知らせします。

2021年度春季大会は2021年5月15日・16日に京都の同志社女子大学で開催される予定でしたが、理事会で慎重に検討いたしました結果、2020年度秋季大会に引き続き、現地開催を取りやめ、オンラインによる開催とすることを決定いたしました。

2020年度は、春季大会が現地での開催中止、秋季大会がオンライン開催となったこともあり、次回の2021年度春季大会も現地での開催ができないことについては、会員の皆様には大変に残念に感じられることと思います。研究上の知友との交流や研究情報の交換など、現地開催の大会に期待されていたことが実現できず、誠に申し訳なく存じます。

理事会でも、現地開催や、ハイブリッドによる開催などの可能性を模索しましたが、現在の新型コロナウイルス感染症の状況から、来年5月に会場校から確実に施設をお借りできるかどうか、現時点での見通しがついておりません。また、もし現地で開催できても、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年5月25日変更）による感染症拡大予防・クラスター対策の点から、教室定員等の制約があり、従前のような形での開催は困難です。また、現時点で、他地域への出張制限などのある方もあると聞いております。ハイブリッドによる開催は、経費が二重化する上、現地開催の問題点を完全に解消することができません。それに対し、オンラインでの開催は、2020年度秋季大会での参加アンケートなどから、学会大会としての機能を十分に果たすことが実証されています。2020年度秋季大会で得た様々な知見を生かしていくことが可能です。

以上のことを考え合わせ、2021年度春季大会もオンラインによる大会開催の方法をとることにいたしました。オンライン開催のメリットを生かし、前回大会以上の充実した大会となることを念願しております。会員の皆様の積極的なご参加を心からお待ち申し上げます。

(参考)

新型コロナウイルス感染症対策本部「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年3月28日（令和2年5月25日変更））

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryu/kihon_h_0525.pdf

文部科学省（高等教育局長）「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」（令和2年6月5日）

https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_5.pdf

文部科学省「感染拡大の防止と研究活動の両立に向けたガイドライン（改訂）」（令和2年10月6日）

https://www.mext.go.jp/content/20201007_mxt_kouhou01_mext_00028_01.pdf

一般社団法人日本コンベンション協会「新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン第3版」（2020年9月18日）

<https://jp-cma.org/news/5361/>

「日本語学会からのお知らせ」（会員向け一斉メール）

バックナンバー <https://www.jpling.gr.jp/kaiin/infomail/backnumber/>

配信停止・配信先変更は、マイページにてご登録ください。

マイページ <https://iap-jp.org/jpling/mypage/>

日本語学会HP <https://www.jpling.gr.jp/>

Twitter https://twitter.com/sjl_dig/

Facebook <https://www.facebook.com/society.for.japanese.linguistics/>
